



中里の家だより
第 14 号

発行年月日
平成元年 8 月 1 日

発行
社会福祉法人
安房広域福祉会

〒294-02
館山市中里288-1
0470 (28) 2022

近況所感

施設長 山口 一

早いもので「中里の家」も開設されて二年半になろうとしています。明るく楽しく元気一杯の入所生の顔が毎日見られることは喜ばしい限りです。

これも保護者方や地域社会の皆様方のご理解とご支援のお蔭であると感謝いたしております。そして、職員諸氏の努力も見逃せない事実であると申し添えます。

しかしながら、なによりも強調したいことは、入所生の協力であるろうと思えます。「中里ファミリー」として過してきた二年間、この人たちの施設生活への努力は大変な

ものであったろうと考えます。今、「中里の家」は運営も軌道に乗り、順調な歩みが続けておりますと、誇らしげに言えるのも以上のような要素が、うまくかみ合ってきた賜ものであらうと思っております。

ところで、近來、ノーマライゼーションの思潮の中で施設の見直しが論議されております。わが施設でも、順調であるが故に、なおさら原点にかえった見直しが必要ではないでしょうか。今まで、施設即団体生活ということ、あまりにも集団生活ということに力点が置かれすぎてきたのではないだろ

うか。個人生活への配慮という面から考えますと決して満足できるものでなかったと言えらると思えます。

施設という集団生活の中での個人の尊重、特に個人プライバシーの確保ということは、理屈の上では理解でき、その通りだと考えるのですが、現実の面では仲々難しいようです。

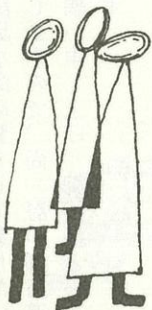
しかしながら、この問題は、ぜひとも実現しなければならぬこととであり、避けて通れない私たちの宿命であらうと受け止めております。このことは、いつも私の言っておりますように、入所生、施設そして家庭、地域社会とが一体となった処遇展開の中にこそ実現できるものであることを再び申し上げる次第です。

今年から「中里の家」では、生活面を少し改めてみました。その人の立場に依じての食事方法、作業面での配慮などですが、特に居室を自分の部屋として自覚してもらうため、入所生の発想に基づく居室活動などを新しく展開しております。不安と共に大きな期待を

もって見守っている所です。

また、本年度の増築事業の中で、一人室、二人室を六部屋新たに増やす予定です。来年からは新しい環境の中で、より良い生活をどのように展開してゆくのか楽しみみです。

増築事業の内容につき概略を申しあげますと、約三百二十平方メートルを増築し、居室十一部屋を増やし、他に生活訓練室も増設します。定員は三十名増加することになります。また、全館にスプリンクラーを設置する予定です。九月中に着工できると思いますが、完成は来年三月頃と予定しております。施設の充実と共に、一層の福祉向上に努めなければならないと責務の重大さを痛感しております。皆様のご協力をぜひともお願いする次第であります。



会長就任にあたって

保護者会会長 三幣 欣一

本年度の総会の折、役員改選で会長に選出されました三幣でございます。もとより微力ではありませんが、役員の方々と共に、保護者会本来の目的のため責を果したく

存じますので、皆様方の御協力をよろしくお願い申し上げます。

去る五月二十一日に開催されました「第一回中里の家チャリティバザー」につきまして、関係機関の御指導とボランティア並びに保護者会の皆様の御支援により、予想を

はるかに上廻る収益を得ることができました。厚くお礼申し上げます。次第であります。またこの折、安房郡市の多くの方々に「中里の家」に対する御理解を頂きましたこと

は、極めて有意義なことであったと思っております。また総会の時お願いいたしました「信ちゃん人形」の募金につきましては、各地区で皆様のお骨折りをいただいております。申し上げるまでもなく、地域住民の方々の理解と認識を深め、園生の「しあわせ」のため御協力をお願いすると共に、これらの地道な活動により、更に「輪」を大きく広げていきたいと思っております。

戦争から終戦、そして現在の平和な経済大国へと目覚ましい発展を遂げた激動の「昭和」から「平成」の時代を迎え、心改まるこの機に懸案でありました増築工事（定員増）が着工される運びになりましたことは、誠に御同慶の至りであります。入所を待ち望んでおられた方々にとっては素晴らしい朗報でありましょう。

施設拡充に伴い、地域に於ける役割は非常に大きく、今後の益々の発展を心より祈念しております。本年度の施設運営指導につきましては「ノーマライゼーション」の思想を基調に、個人の尊重を重

点に諸施策が計画されております。施設長さんはじめ、職員の方々の園生に対する深い御配慮に厚く感謝を申し上げます。我々も保護者として、更に自覚

と認識を深め努力して参りたいと存じますので、尚一層の御指導をお願い申し上げます、御挨拶といたします。

一泊旅行の思い出

鎌田 善一

今年の一泊旅行はとうとう雨になつてしまつたか。誰もがそう思ったにちがひありません。それもそのはずです。私達「中里の家」の一行が富士急ハイランドに到着した時の雨の降り方は普通ではありませんでした。みんなをジェットコースターに乗せてやれなくて残念だなあ、とも思いました。しかしどうでしょう。昼食を食べ終わって外へ出てみると先程の雨がうそのように薄日さえ差してきました。やはり、「中里の家」が行事の時は必ず天気になる」という伝説は今回も守られたわけですね。これも園生をはじめ中里の家のみんなの日頃の行いがよいからかもしれませんね。

今年の一泊旅行は、お父さんやお母さん、職員と一緒に自分の乗りたい乗り物目指してそれぞれ出発していききました。観覧車やメリーゴーランドなど安全な乗り物を見つけて乗っている人、ジェットコースターやダブルループなどスリルのある乗り物に敢えて挑戦している人など様々でした。園生はスリルのある乗り物に乗っ



でも意外と平気な顔をしている人が多いのには驚きました。逆に付添いで乗った職員の方が怖くて「キヤー」といったり、目が開けられないでずっと下を向きっぱなしという人が多かったようです。富士急ハイランドでは、園生や職員をはじめ保護者の方々も子どもたちのころにかえって楽しめたのではないかと思えます。

みんなで記念撮影をし、富士急ハイランドを後にしました。それからワイン工場を見学して石和温泉観光ホテルで温泉につきり旅の疲れをいやしました。

今回の山梨方面への一泊二日の旅行も天気にも恵まれて楽しい二日間が過ぎました。これからの旅行でも見学する所ばかりでなく、みんな楽しんで遊べるような所もコースの中にいれていけたらと係の一人として思っています。

楽しかった海水浴

内木 栄一

七月二十二日の日に、かいすいよくにいきました。



ぼしよは、西岬かいがんでした。みんなは、バスでいったけど、三平君とゆきおさんとぼくの三人は、中里のいえの車で先にいき、てんとほりをしました。

みんなが、バスでつくまえに、てんがができるように、いっしょうけんめいにはりました。

おひるにたべるのに、つめたくなるように、(スイカを)うみにしずめました。

うきわをつけて、うみにはいりました。みずは、つめたかったです。

おひるは、やきそばとおにぎりをつまみました。

すわってコーヒーをのみました。また、うみにはいりました。うみが、とてもふかかったです。

悦ちゃんから、ガムをもらいました。うみにはいつてから、てんとですこしやすんでいました。しんぶんは、みませんでした。

丸 真理子

七月二十二日土曜 にしぎかいがんにおよぎにきました。

かとうよしこせんせいと海にはいろうとしたら、海のなかにはわがあつて、あしがいたくて海のなかにはいられたかったけれど、いわがあつていけなかつた。

おひるをたべてから、また海にいつておよぎました。

やまぐちせんせいとふたりで、うきわをもって海のなかにはいつていきました。そこで、みんながいるところまで、たどりつきました。

みちえちちゃんとふたりでおよいでいるうちに、なみがきて、とてもこわかつた。

海のなかは、つめたくなかつた。海のみずは、しょっからいようだ。およいでたのしかつた。

池田 悦子

うみであそびました。べんとうがおいしかつたです。おかあさんといっしょにあそび

ました。

うみでおよぎました。うきぶくろをつかつてあそびました。こわかつたです。

先生といっしょにおよぎました。スイカがおいしかつたです。あきこさんといっしょにあそびました。おかしをたべました。

おもしろかつたです。またいきたいです。

みんなといっしょにあそびました。プールが、なかつたです。ことしは、おもしろかつたです。

坂本 和代

七月二十二日 土ようび

てんき はれ うみにいきました。

せんせいとあそびました たのしかつたです。

おべんとうをたべました。おにぎりをたべました。

すいかをたべました。まりこさんとあそびました。

おかあさんとあそびました。かまたせんせいとあそびました。

きがえをしました。 たのしかつたです。

個性ある
部屋づくりを
目ざして

年号も改まった平成元年。「中里の家」も心機一転、新しい居室替えを行い、五月早々皆んなで引越しを行いました。今回の居室替えでは特に園生一人一人のプライバシーの尊重や、自分の部屋であることの自覚を持たせること、又一緒に生活する同室の友達との交流等を重点に、部屋割を行いました。特に自分の部屋であることの自覚を持つために、自分の部屋は自分で掃除する（毎朝、起床洗面後の部屋清掃を行う）ことや、居室活動の第一歩として、絵を飾ったり手作りカレンダーをはったり、のれんを作ったり、ステンドグラスやモビールを作ったりするなど、楽しい部屋の装飾を考えています。個性のある部屋づくりを目ざして、今各部屋それぞれ頑張っています。

平成元年度 居室割

		居室名	園生氏名	担当職員
棟	A 男 子	すいせん	真田和文・三上利夫・渡辺一之・斉野尚規	香田道丸
		ひまわり	鈴木重行・北田正明・白石和幸・佐久間 晃	岡田義之
		き く	内木栄一・堀江 進	井上一範
		なのはな	川崎康夫・加藤春治・三平常明	内田法和
	女 子	ゆ り	坂本和代・笹生清美	畠山和子
		はまゆう	松浦路子・遠藤愛子・里見あき子・網代美恵子	山口時代
		すみれ	森井庸江・新藤恵子・小谷利枝子・山岡久美子	加藤祥子 小栗周子

		居室名	園生氏名	担当職員
棟	B 男 子	さつき	茅野正一・植村 修・豊見山一志	鎌田善一
		ふ じ	鈴木正則・平野高雄・宇山幸雄・高野 昇	渡辺和弘
		つばき	山口智章・中野芳照・菊池伸幸・青木輝夫	能重学
		あじさい	宇山洋一・小原睦司・永井貴之・石井和彦	能重学
	女 子	さくら	池田悦子・吉村晶子・小谷千恵子	戸倉悦子
		も も	富田智子・加藤春枝・小谷まゆみ・山崎三喜江	加藤まゆみ
		う め	高梨京子・真田幸子・三幣麻由子	鎌田治実
		ば ら	丸 真理子・長谷川弘美	田村信子

平成元年度 作業班編成

作業班	園 生 氏 名	担当職員
作 陶 (11名)	佐久間 晃・白石和幸・三上利夫・中野芳照 松浦路子・小谷千恵子・加藤春枝・新藤恵子 網代美恵子・森井庸江・小谷利枝子	鎌田善一 山口時代
木 工 (8名)	三平常明・平野高雄・宇山幸雄・高野 昇 加藤春治・渡辺一之・北田正明・山口智章	井上一範 島山和子
農 園 (12名)	川崎康夫・堀江 進・鈴木正則・鈴木重行 永井貴之・内木栄一・豊見山一志・青木輝夫 菊池伸幸・茅野正一・里見あき子・池田悦子	香田道丸 岡田義之 能重学
縫 製 (9名)	丸 真理子・吉村晶子・坂本和代・富田智子 遠藤愛子・笹生清美・真田幸子・高梨京子 長谷川弘美	加藤まゆみ 小栗周子
生活訓練 (10名)	宇山洋一・真田和文・小原睦司・植村 修 石井和彦・斉野尚規 三幣麻由子・山崎三喜江・小谷まゆみ・山岡久美子	渡辺和弘 鎌田治実 戸倉悦子

今後の 行事予定

- 九月 太房岬遠足・八幡祭
礼見物・野外炊飯・
自然村遠足
- 十月 運動会・ふれあい広
場・野鳥の森遠足・
野外炊飯
- 十一月 南房バラダイス遠足
収穫祭
- 十二月 映画会・クリスマス
会・餅つき
- 一 月 初詣・成人式新年会
小塚大師初大師詣
- 二 月 節分会・レストラン
外食・映画会
- 三 月 球技大会・苺狩り・
マザー牧場遠足



新任挨拶

はたけやま
島山和子



中里の家に通うようになって、はや五ヶ月、愛車ミラ坊の距離計も先立って、一万キロを越えました。

毎朝、通勤ルートの左手に見る海辺の景色はすでに夏本番をむかえ、遊びに繰り出す人達の姿に街中が何となく若やいで見えてきま

す。そんな中を、あたしやただ今通勤途中……と去年の自分を羨ましく、というよりほとんど恨めしく思いながら、ひよこひよこ走っている今日此頃、でも、以前と違って、どうでもいいという事が一気に減少してしまっただ今の身分は、その分、身になることが増えたのかもしれない。今迄出会った事の無い場面や立場に出くわすたびに、自身への目がまたひとつ開かれてゆく気がします。ついでに、自分の「しょーもなき」に頭イタ

くもなりますが……。ともあれ、ステキな職員の方々に恵まれ、毎日元気にやっています。これから、更に手ごたえのある日々を走り抜けるべく努力しようと思えます。

宣しくお願いします。

お知らせ

◎七月一日より、古川看護婦が産休に入りました。出産予定日は八月下旬です。

◎七月十日、香田指導員に長男が誕生しました。「祐道」くんと名づけられたそうで、一緒にテニスのできる日を心待ちにしています。

◎八月一日～七日まで、東京女子

医科大学看護短期大学三年・鎌田祥江さんが実習生として来所しました。入所生と共に納涼会の準備や盆踊りの練習に活躍してくれました。

◎八月十二日～二十日まで家庭実習です。健康に留意していただき楽しい帰省となりますようお願いいたします。尚、何かあり

編集後記

梅雨も過ぎ去り、一日また一日と日差しも強まり、ようやく夏本番と思わせる陽気となりました。

大変遅くなりましたが、本年度第一号の「虹」をお届けします。「中里の家」も三年目を迎え、本年度はこれまで居室替え、作業班のメンバー再編成というニュースがありました。当初は戸惑いを見せた園生も、今ではそれぞれの居室、作業班でと気分をリフレッシュさせ、今までには見せなかつた一面や力を発揮してくれています。

園生には、先日行なわれた西岬海岸での海水浴の思い出を作文にしてもらいました。あの日、一日の思いは、園生それぞれの心の中に強く残っているようです。

これからまだまだ暑い日が続きそうです。体に十分気をつけて元気良く過してゆきたいと思います。

ましたら、中里の家まで御連絡
ください。

